

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年11月20日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大田原市 9210
地域名 (地域内農業集落名)	大神本田・福原 (大神、大神後新田、福原、福原新田)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	273.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	203.2 ha
② 田の面積	216.4 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	54.9 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	6.1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	6.0 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

- 注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
 3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5：(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>地区全体として水利の問題が多く、基盤整備の未整備な地域は、水利費が過度な負担になっている。福原の南部や大神の山間部といった開田地帯は、基盤整備をしていなく、圃場も段状で点在しているため、草刈りや水利の維持管理に時間が取られる。</p> <p>多面的機能支払の活動がある地域があるが、近年農業者の認識の低下から存続が危惧されている。獣害（ハクビシン）が発生している。塩那台地域は、地区外の酪農家が主に牧草地として利用しており、現状耕作できているが、将来的に原野化する危険性がある。</p>
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

<p>本市の基幹作物である水稻を中心に、以下の作物の振興を図っていくとともに、新規作物の導入についても検討していく。☒</p> <p>また、農地の集積・集約についても認定農業者を中心に進めていきつつ、新規就農者の参入についても積極的に推進していく。☒</p> <p>【耕種】水稻☒飼料作物・イチゴ・ネギ☒</p> <p>【畜産・酪農】和牛肥育・和牛繁殖☒</p> <p>【その他】無農業酒米</p>

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
関係機関（市、農業委員会、県、JA等）が連携し、農地の貸借や利用の意向の情報を収集し、地域の担い手等を中心に集積・集約していくほか、農地の有効な活用法を幅広く検討していく。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	28.1	%	将来の目標とする集積率
			80 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
<p>地区全体として、条件不利地での営農継続には限界があるので、土地改良を推進し、地区の担い手を中心に集積・集約化していく。</p> <p>若い担い手を中心に、集団化への取組の実施、最終的には法人化への取組を検討していく。地元では大神本田及び福原本田の中心地にライスセンターができると効率化が図れ、担い手の受け入れも推進できると思われるので、実現に向けた検討を重ねていく。</p> <p>借り手の負担となっている水利費については、基盤整備の促進等により、負担を軽減させていければ耕作意欲の向上にもつながるので、実現に向けた検討をしていく。</p>			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組 担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地バンクを通じて進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法 現在の利用権設定及び離農などによる農地の権利設定については農地中間管理機構を利用する。
(3) 基盤整備事業への取組 農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、要望があれば農地の大区画化・汎用化等の基盤整備の検討を進めていく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組 新規就農希望者や「半農半X」希望者、他地区の担い手などの情報を幅広く収集し、関係機関（市、農業委員会、県、JA等）と情報共有しながら支援をしていく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 なし

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)					
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図 上の表示	備考	
1	認農 1	水稻等	5.19 ha	ha	水稻等	5.19 ha	ha	1		
2	認農 2	水稻等	1.51 ha	ha	水稻等	1.51 ha	ha	2		
3	認農 3	水稻等	2.22 ha	ha	水稻等	4.75 ha	ha	3		
4	到達 4	水稻等	2.89 ha	ha	水稻等	2.89 ha	ha	4		
5	認農 5	水稻	5.03 ha	ha	水稻	5.03 ha	ha	5		
6	到達 6	水稻等	2.33 ha	ha	水稻等	2.33 ha	ha	6		
7	認農 7	水稻繁殖和牛飼料作物	3.34 ha	ha	水稻繁殖和牛飼料作物	3.34 ha	ha	7		
8	認農 8	水稻飼料作物繁殖牛	14.86 ha	ha	水稻飼料作物繁殖牛	14.92 ha	ha	8		
9	認農 9	水稻和牛繁殖飼料作物飼料用稲	8.08 ha	ha	水稻和牛繁殖飼料作物飼料用稲	8.08 ha	ha	9		
10	認農 10	水稻WCSイチゴ	2.90 ha	ha	水稻WCSイチゴ	2.90 ha	ha	10		
11	認農 11	水稻等	11.81 ha	ha	水稻等	14.35 ha	ha	11		
12	認農 12	水稻牧草山芋野菜	2.21 ha	ha	水稻牧草山芋野菜	2.21 ha	ha	12		
13	認農 13	水稻二条大麦大豆	4.03 ha	ha	水稻二条大麦大豆	4.03 ha	ha	13		
14	到達 14	水稻等	2.74 ha	ha	水稻等	2.74 ha	ha	14		
15	認農 15	水稻等	1.15 ha	ha	水稻等	1.25 ha	ha	15		
16	認農 16	水稻等	4.03 ha	ha	水稻等	4.03 ha	ha	16		
17	認農 17	水稻ねぎ	2.42 ha	ha	水稻ねぎ	3.17 ha	ha	17		
	計 17経営体		76.74 ha	0.00 ha		82.72 ha	0.00 ha			